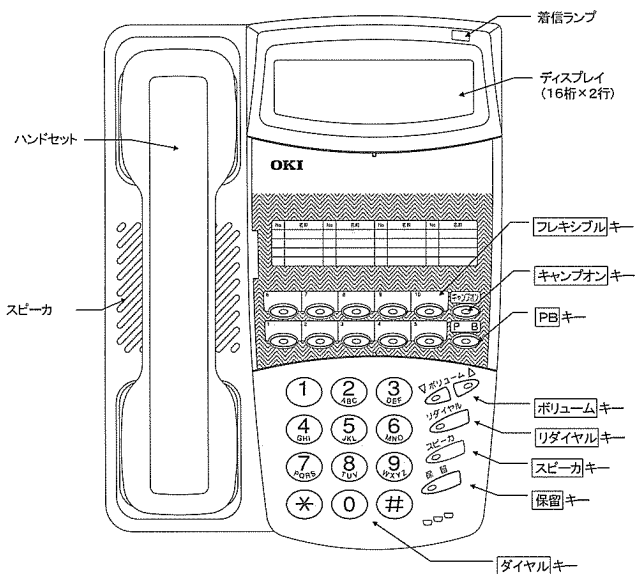
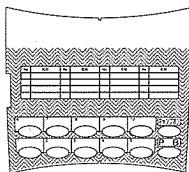


マルチ・キーテレホンIP-10DS (DISCOVERY)

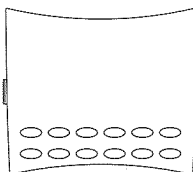


●電話機を取り付ける前に

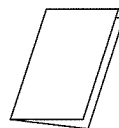
電話機を取り付ける前に、箱の中に入っている「添付品」をお確かめください。



フレキシブルカード



フレキシブルカバー



簡易使用説明書

必ずお読みください

安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

本商品をご使用の前に、本文をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

- お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

	警告	（次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。）
●	「LAN」ポート、「PC」ポートに接続したネットワークケーブルを商用電源、アナログ電話回線、デジタル電話回線（ISDN）、PBXデジタル電話回線には接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
●	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
●	開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
●	本機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
●	本機の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢など、水類の入った容器または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。	
●	内部の点検・修理は、販売店に依頼してください。	
	ACアダプタをご使用の場合は、下記の項目もお読みください。	
●	付属、あるいは指定のACアダプタ以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。	
●	濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。	
●	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。	
●	タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。	
●	ACアダプタのコードに重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。	
●	近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。落雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。	
●	万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。	
●	煙が出ている、異臭がするなどの場合は、すぐに電源プラグを抜いて、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。	
●	万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。	

注意 〔次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容〕 および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。〕

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所および、ちり、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所や、湿度の高い所には置かないでください。内部の温度が上がリ、火災・故障の原因となることがあります。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。内部に入ると、火災・故障の原因となることがあります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 壁掛け用に取り付ける場合は、重みにより本機が落下しないよう、専用の取付器具を使用し、指定の方法で取り付けてください。落下すると、けがの原因となることがあります。

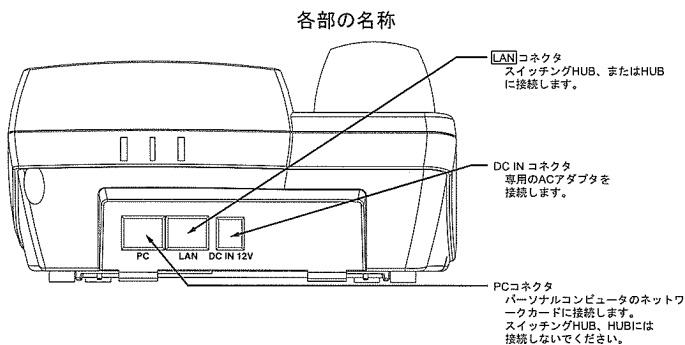

ACアダプタをご使用の場合は、下記の項目もお読みください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷付いて火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ご使用にあたってのお願い

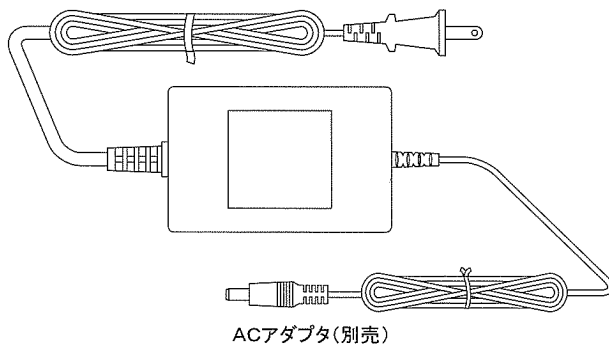
- 本装置の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外的要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください。
- 本装置を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

●電話機の取り付け方



1. 取り付けの前に

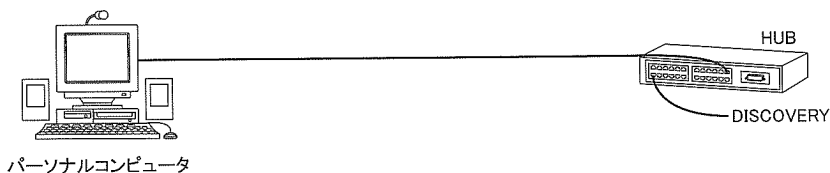
- マルチ・キーテレホンIPは、従来のアナログ電話回線、デジタル電話回線（ISDN）、PBXデジタル多機能電話回線には接続できません。
コンピュータネットワーク用のスイッチングHUB、リピータHUBに接続します。
これらのHUBに接続する為に、カテゴリ5UTPケーブル（100M）、または、カテゴリ3UTPケーブル（10M）が必要です。
- マルチ・キーテレホンIPをご使用になる場合、別売のACアダプタが必要です。
- マルチ・キーテレホンIPを壁掛けでお使いになる場合、別売の壁掛け用品が必要です。



2. 接続方法

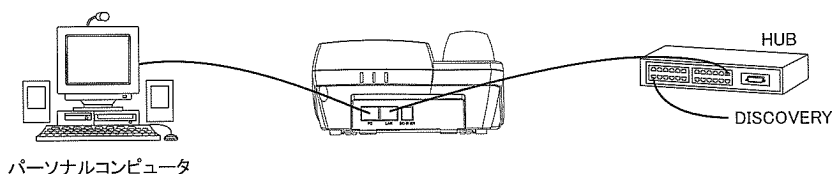
(1) 既にパーソナルコンピュータ用として、ネットワークケーブルが配線されている場合。

① ネットワークケーブルをパーソナルコンピュータから外します。

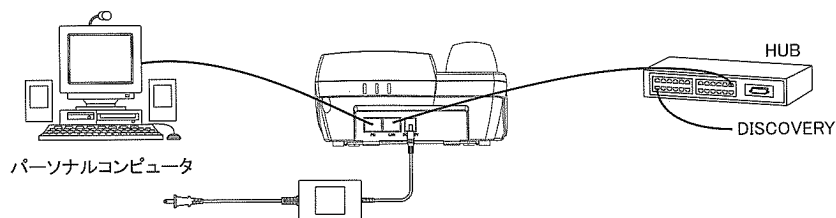


② 上で外したケーブルを電話機の「LAN」ポートに接続します。

次に、別に用意したケーブルで電話機の「PC」ポートとパーソナルコンピュータを接続します。



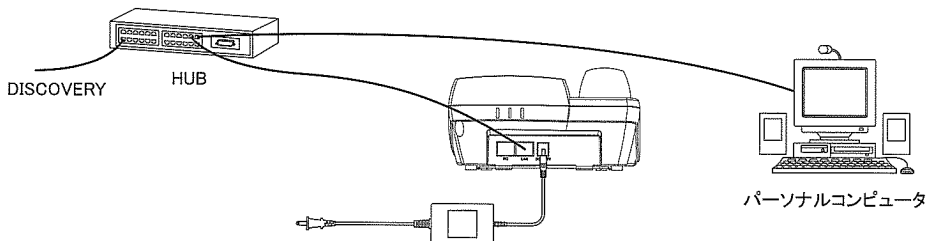
③ 電話機にACアダプタを接続します。



※ MKT/IPのLANポートとPCポートはブリッジとして接続されます。従って、LANポートをリピータHUBに接続した場合でもPCポートを1つのセグメント(多段接続)としてカウントする必要はありません。

(2) ネットワークケーブルが配線されていない場所に新規に設置する場合

- ① HUBの空いているポートと電話機の「LAN」ポートをネットワークケーブルで接続します。
- ② 電話機にACアダプタを接続します。



●ご注意とお願い

【設置にあたって】

- ・ネットワーク構築に関しては、販売店にご相談ください。
- ・電話機の「PC」ポートに接続できるのは、パーソナルコンピュータ(1台)のみです。
- ・「PC」ポートにHUBを接続したり、電話機を接続すると、通話に支障をきたす場合があります。
- ・電話機をリピータHUBに接続する場合、パソコンと電話機の合計は、8台以下を目安にしてください。設置数を増やすと通話に支障をきたす場合があります。

※リピータHUBに8台まで接続できることを保証するものではありません。

※リピータHUBが複数台カスケード接続されている場合でも、それらを1つのリピータHUBとみなした接続可能台数です。

- ・電話機が給電されていない場合、「PC」ポートに接続したパーソナルコンピュータはネットワークに接続されません。電話機を使用しない時でもACアダプタは外さないでください。
- ・放送局の近くや違法CB無線など、強い電波を受ける場所では通話中に雑音が入ることがあります。通話に支障をきたす場合には、販売店にご相談ください。お客様のご要望により、有償にて対応致します。
- ・テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波を発生する場所や違法無線を受ける場所には設置しないでください。本製品の誤動作の原因となることがあります。
- ・ACアダプタをテレビ、ディスプレイ等の近くに設置しないでください。画面が乱れる原因となることがあります。
- ・この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適正な対策を講ずるよう要求されることがあります。

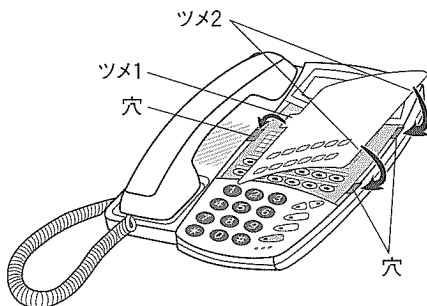
【取り扱い上のご注意】

- ・落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。
- ・電話機に接続されているケーブルを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- ・電話機を清掃するときは、揮発性のあるシンナーやアルコール及びシリコン系クリーナなどの使用は絶対にさけてください。水を含んだ布をかたく絞って拭いた後、柔らかい布でからぶきしてください。変色、変形の原因になることがあります。
- ・雷の多い地域において、雷対策を実施する場合には販売店にご相談ください。

●フレキシブルカバーの取り付けかた・外しかた

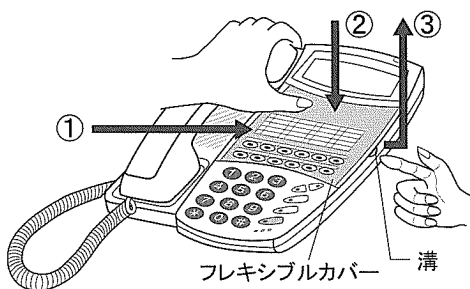
取り付けかた

フレキシブルカバーのツメ1(左側1カ所)を、本体の穴に斜め上から入れます。
その後、カバーを回転させながらツメ2(右側2カ所)を本体の穴にはめ込みます。



取り外しかた

カバーを矢印①の方向に若干移動し、カバーの中央部を矢印②の方向に強めに押しながら、溝部に指を引っ掛けて、矢印③のように上方向に持ち上げて取り外します。



●電話機の操作のしかた

●各記号の意味

 キーを押す。
(リダイヤル、PB、スピーカ、保留、キャンブオン、ボリュームキー等)

 受話器をあげる。

 受話器をおろす。

区分	サービス機能		説 明	操 作 方 法	備 考
発信	通常の発信	内線	内線に発信できます。	 → 内線番号	
		外線	外線に発信できます。	 → 〇（回線捕捉特番） → 相手先番号	
	オンフックダイヤル		受話器を持たずに発信できます。	 → 相手先番号	
	短縮ダイヤル		短縮番号でダイヤルできます。	 → 短縮番号	
	リダイヤル		最後にかけた相手に再び発信できます。	 → 	
発信	キャンブオン		内線相互で相手内線が話中の時、キャンブオン押下により相手内線が空き次第、自動的に呼出します。	相手話中 → 	

区分	サービス機能	説 明	操 作 方 法	備 考
着信	通常の着信	着信応答できます。	 または、 スピーカ	
	マルチライン着信	着信応答できます。	マルチライン着信 → 外線	
保留	保留	通話中の相手を保留することができます。	通話中 → 保留	保留ランプ点灯中は、受話器を置くことができます。
転送	ダイヤル転送	通話中の相手を一時保留して、他の内線呼び出し、通話後、受話器を置くことによって保留されている相手を他の内線に転送することができます。	通話中 → 転送先の内線番号 → 転送先の相手が応答したら受話器を置く。	転送先の相手が応答しなかったり、話し中の場合にはフッキングで元の相手と通話できます。
	口頭転送	通話中の相手を一時保留して、転送する人に声をかけて転送する旨を伝えます。声をかけられた人は受話器を上げ指定されたキーを押して応答します。	通話中 → 保留 または パーク保留キー ※外線キーおよびパークキーのランプ表示は以下の通りです。 ・自分の電話機→橙／緑の遅い点滅 ・他の電話機→緑の早い点滅 →転送する人に声をかけます。 →声をかけられた人は、受話器を上げ指定されたキーを押して応答します。	
PB 送出	PB	通話中にPB信号を送出することができます。	通話中 → PB → 送出番号	
その他	受話音量切り替え	受話音量の調整ができます。	通話中に Vol▲ , Vol▼ で調整します。	3段階切替です。
	着信音量切り替え	着信音量の調整ができます。	着信音鳴動中に Vol▲ , Vol▼ で調整します。	5段階切替です。
	スピーカ受話音量切り替え	スピーカ受話音量の調整ができます。	スピーカ受話中に Vol▲ , Vol▼ で調整します。	8段階切替です。

区分	サービス機能	説 明	操 作 方 法
電話機設定	着信音量調節 受話音量切替 着信音色切替 ヘッドセット切替※ ディスプレイコントラスト調節 側音切替 キータッチオン/OFF アドレス確認	・着信音量:5段階 ・受話音量:3段階 ・着信音色:5音色 ・ヘッドセット:有効/無効※ ・ディスプレイコントラスト:8段階 ・側音切替:3段階 ・キータッチオン:有/無 ・アドレス確認:参照のみ	 → Vol▲ を押したまま Vol▼ を押し、一旦離す。 Vol▲、Vol▼ でスクロールし、設定したい項目が表示されたら#を押す。 Vol▲、Vol▼ で切り替える。 注意:3秒以上操作を行わないと待機状態に戻ります。 ※ヘッドセット機能はございません。 ・ヘッドセット切替を有効に設定すると、スピーカ受話機能が無効となります。 ・ヘッドセット切替設定は無効のまま、ご使用下さい。

●故障かなと思ったら

症状1	確認項目	処 置
"ツ"という音が聞こえない。	ディスプレイに何も表示されない。	電源ケーブルの抜け、接触不良が考えられます。確実に入っているかを確認してください。
	ディスプレイに「SEARCHING」と表示されたまま。	DISCOVERY本体に登録されていない電話機はそのままでは使用できません。新しい電話機を設置する場合は販売店にご相談ください。 この表示がしばらく続く様であれば、電話機がDISCOVERY本体に接続できていないことが考えられます。 この様な場合、販売店にご相談ください。
	ディスプレイに「LINK FAILED」と表示されている。	ネットワークケーブルの抜け、接触不良が考えられます。確実に入っているか確認してください。 また、HUB側のポートを入れ替えてみてください。 HUBの「アップリンクポート」(HUB同士を接続するポート)にストレートケーブルで接続できません。 また、HUBとクロスケーブルを用いての接続はできません。 通常のパソコンを接続する様に、ストレートケーブルを用いてください。
こちらの声が相手に伝わらない。	ディスプレイは通常通り表示されている。	ハンドセットのコードの抜け、接触不良が考えられます。確実に入っているかを確認してください。
通話とぎれる。 雑音が多い。	電話機がリピータHUBに接続されている。	リピータHUBに収容されている電話機やパソコンが多く、パケットのトラフィックが高い場合、音声パケットの伝達が遅れてしまうことがあります。 同一コリジョンドメインの収容台数を多くとも8台以下に減らすか、スイッチ方式のHUBに変更してください。
PCポートに接続したパソコンがネットワーク接続できない。	パソコン側のリンクLEDが点灯していない。	ネットワークケーブルの抜け、接触不良が考えられます。確実に入っているか確認してください。
		電話機のPCポートとパソコンをクロスケーブルでは接続できません。ストレートケーブルを用いて接続してください。
通話が途切れる。	PCポートにケーブルを接続した。	通話中にPCポートにケーブルを差し込んだり、パーソナルコンピュータの電源を立ち上げた場合、一時的に通話が途切れる場合があります。 これは、LANポートとPCポートの通信状態の再設定が行われる為に発生することで故障ではありません。
	PCポートに接続しているパーソナルコンピュータの電源を入れた。	
スピーカから音が出ない。	電話機設定機能において、ヘッドセット機能が有効に切り替わっている。	電話機設定機能において、ヘッドセット機能を無効に切り替える。

●よくある質問と回答

質 問	回 答
ACアダプタが壊れた。 同じ出力電圧ならば何でも使えるのか？	専用のACアダプタ以外はご使用になれません。 他のACアダプタをご使用になった場合、火災、故障の原因となります。ご購入に際しては、販売店にご相談ください。
壁掛けが可能か？	専用の壁掛け用品を用いることで、壁掛け可能です。 販売店にご相談ください。
停電でも使用できるか？	マルチ・キーテレホンIPは停電機能をサポートしておりません。 UPS等でのバックアップを希望する場合、販売店にご相談ください。
ネットワークケーブルの「カテゴリ3UTPケーブル」、「カテゴリ5UTPケーブル」とは何か？	カテゴリ3UTP:10BASE-Tの機器と接続する場合使用します。 カテゴリ5UTP:100BASE-TXの機器と接続する場合に使用します。また10BASE-Tの機器でも使用できます。

●仕 様

項 目	仕 様
ネットワークインタフェース	10BASE-T または 100BASE-TX
ネットワーク伝送距離	100m
給電方式	・ACアダプタによるローカル給電(DC12V) 使用電源:AC100V(50Hz/60Hz) ・専用の給電装置によるセンター給電も可能 給電装置に関しては販売店にご相談ください。
消費電力	10W以下
設置形態	卓上／壁掛け(壁掛け用品はオプション)
使用温湿度	温度 0 ～ +40 (°C)
	湿度 20 ～ 85 (%RH)
保存温湿度	温度 -20 ～ +60 (°C)
	湿度 10 ～ 90 (%RH)
寸法	約 185mm(幅) × 235mm(奥行) × 98mm(高さ)
質量	約 0.9(kg)

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●お問合せ窓口

MKT/IPの運用・保守に関する疑問や質問、あるいは本簡易使用説明書の記述で不明な箇所がありましたら本機を購入されました販売店までお問い合わせください。

OKI 沖電気工業株式会社



使用済み製品を廃棄する場合は、廃棄物処理法に基づいた処理が必要です。
廃棄・リサイクル処理についてのお問い合わせは、営業または販売店までご連絡ください。

3PP3507-4190P001 Rev2.0